

1 概要

道路・河川等インフラ情報など様々なデータを連携させ、県民の利便性向上に繋がるサービスを提供するための情報基盤である「栃木県データ連携基盤」の運用を開始する。

2 運用開始日

令和8(2026)年3月10日(火) ※APIカタログサイト、オープンデータダッシュボードの公開を含む。

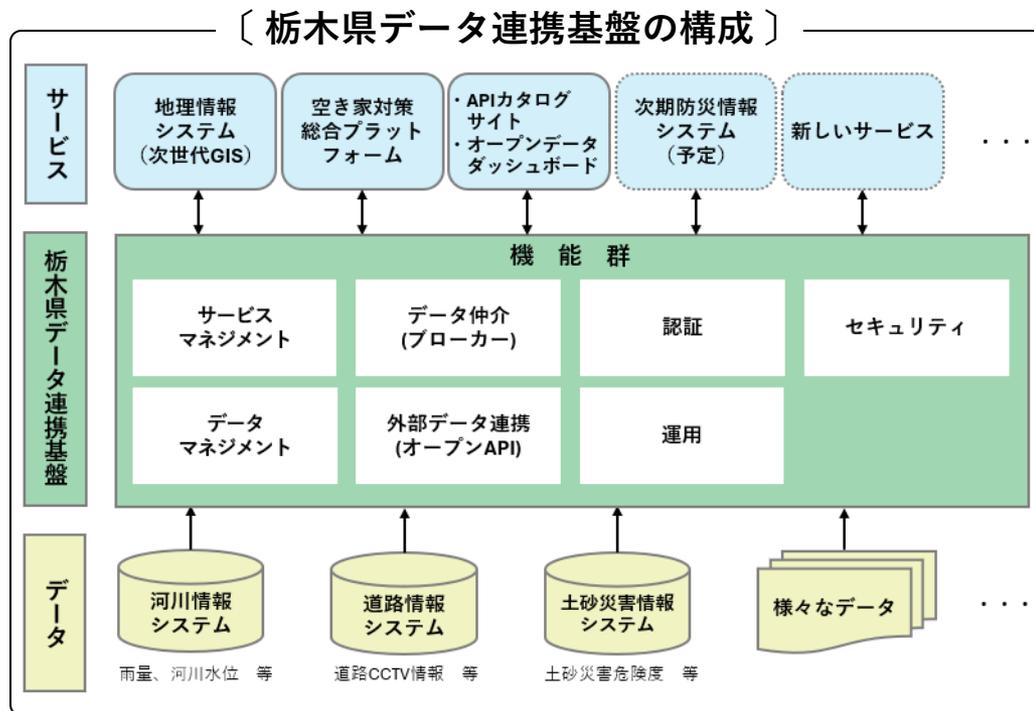
3 栃木県データ連携基盤の概要

「データ連携基盤」は、センサー等の端末や各種システムのデータを効率的に収集・管理し、流通させるデジタル基盤であり、データの孤立化（サイロ化）を防ぎ、地域や分野を超えた様々なデータの活用が可能となる。

県では、まずは道路・河川等インフラ情報や空き家情報、防災情報などのデータを、栃木県データ連携基盤を介して、次世代GISなどの県民の利便性向上に繋がるサービスに連携し、データを効果的・効率的に活用できる環境を整備することとした。

4 その他

栃木県データ連携基盤に接続する地理情報システム（次世代GIS）「とちぎ まるっとマップ」及び空き家対策総合プラットフォーム「とちぎ空き家サイト-とちぎの家と人をつなぐ空き家ポータルサイト-」も3月中に運用開始予定



〔 栃木県データ連携基盤APIカタログサイト 〕

栃木県データ連携基盤で扱うオープンデータの活用を促進するため、主に事業者・開発者向けにAPIの仕様を公開するサイト



〔 オープンデータダッシュボード 〕

県が公開しているオープンデータをもとに、人口・産業・予算などの情報をグラフ等で分かりやすく可視化。「オープンデータ・ベリーとちぎ」で公開

